

新しい保育サポートマガジン ●ポット●

2012
6

ポット



特集

きらめきセタワールド

元気
モリモリ
夏壁面



●別冊付録●
保育カリキュラム
(7~9月の月案)

7月の挨拶

- はじめじめとした梅雨の時期、蒸し暑さも増すなかですが、子どもたちは元気にプール開きを行い、すいか割りを楽しみました。
- 「先生、傘さしてきたよ！」雨の日でも子どもたちは、いろいろな楽しみを見つけて、うれしそうに話してくれます。
- 梅雨が明ければ本格的な夏。7月は、七夕などの夏の行事や、いろいろな夏の遊び・生活を心ゆくまで体験したいと思います。

7月の子どもの姿

- シャボン玉遊びでは、自分で一生懸命「ふーっ」と吹いたり、保育者が作った大きなシャボン玉を、両手をいっぱい広げて追いかけていたりしていました。
- 友達に関心を持ち始めた1歳児。指をさした友達の名前を、保育者が「○○ちゃんよ」と言うのを聞いて、楽しんでいます。
- 指に絵の具をつけてスタンプ遊びをしました。いろいろな色を使い、一人ひとり違った、すてきな花火の絵ができました。

七夕

- 七夕の集いに向けて、フォークダンスをしたり、歌をうたったりして楽しみました。織姫と彦星に、みんなの歌声が聞こえているとよいですね。
- 「ささのはさらさら」。保育者といっしょに七夕の歌をうたいながら、ささに飾りをつける子どもたちです。
- 七夕のお話を聞いて、好きな色の短冊に楽しくお絵描きをしました。大きくなったら、願い事を書こうね。

水遊び

- 初めての水遊び。シャワーに驚いて、少し泣いてしまった子もいましたが、ピニールプールに入ってから、ペットボトルのおもちゃで雨を降らせたり、野菜のおもちゃで遊んだりしました。
- プール遊びでは、水をバシャバシャするのがおもしろくて、走り回ったり、自分に水をかけたりする子もいました。
- プールに入る前の準備体操では、ロケットになってジャンプしたり、扇風機のように肩を回したりして、体をいっぱい動かして楽しんでいます。

泥んこ遊び

- 夏ならではの泥んこ遊び。保育者や友達といっしょに、水や泥の感触を全身で味わえるようにしたいと思います。
- 初めのうちは、ぬるぬるした感触を嫌がることもあります。無理のないように、友達の様子も見せながら進めていくようにします。
- 泥でおだんごを作ったり、コーヒー牛乳を作ったりして、目をキラキラさせながら水や泥の感触を楽しんでいます。

健康・生活

- 夏の遊びが十分楽しめるよう、ご家庭でも子どもたちの体調（早寝早起き・栄養・休息・清潔など）にご配慮をお願いいたします。
- とびひや湿疹などがあると、水遊びが制限されることもあります。子どもたちの皮膚や爪の長さなど、こまめにチェックをお願いします。
- プール遊びなどで着替えをする機会が増えます。下着を間違えないよう、記名の確認をお願いします。

熱中症に気をつけましょう

梅雨の蒸し暑さが過ぎ、ジリジリと暑い夏本番がやってきます。この時期、特に気をつけたいのが熱中症です。乳幼児は体も小さく、自ら意思表示をして水分をとることが難しいので、脱水症や熱中症にならないよう、周囲の大人が気をつけましょう。熱中症は、炎天下だけでなく、湿度の高い室内でも起こり得ます。通気性のよい服を着せ、外出時にはきちんと帽子をかぶるなどして、積極的に水分を与えましょう。体調の変化に気をつけ、暑い夏を健康に乗り切りましょう！



七夕会をしました☆。

年に1度、天の川を渡って出会う織姫と彦星のお話は、乳児さんには少し難しいけれど、それでもお星様の話をじっと聞いていました。七夕の集いでは、遊戯室のささ飾りの前で、大きな友達が七夕の歌をうたったり踊ったりする様子に、曲に合わせてバチバチと手拍子をし、ニコニコ楽しんでいました。給食では、オクラの輪切りをお星様に、そうめんを天の川に見立てた「天の川汁」をおいしく食べました。持ち帰るささはご家庭で飾って、夜になったらお星様をいっしょに見上げてみるのもすてきですよ。短冊に書いた願いが、かなうとよいですね。



トイレトレーニングについて

園では、食後や昼寝のあとなどにトイレへ誘っています。初めはおしっこが出なくても、便器に座ることを続けてみると、そのうちに友達の様子を見て刺激を受け、徐々にトイレでおしっこが出る回数が増えていきます。最終的には自分で「おしっこ！」と言えるのが目標ですが、排尿する間隔を空けることで尿意を感じるため、その感覚がつかめるまでは失敗も当然です。ご家庭でも子どものペースに合わせて、「おむつはいつかは、はずれるから」と気長に取り組みましょう。

